

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公開番号】特開2010-159755(P2010-159755A)

【公開日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-029

【出願番号】特願2010-848(P2010-848)

【国際特許分類】

F 01 D 11/08 (2006.01)

F 02 C 7/28 (2006.01)

【F I】

F 01 D 11/08

F 02 C 7/28 A

F 02 C 7/28 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月17日(2012.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

タービン発電システムにおいて、

内側直径を有する内側表面(26)を有するシュラウドを含むステータ(18)と、
前記シュラウド内に回転可能に位置付けられて、回転軸の回りを回転するよう適合され
、前記シュラウドの内側表面(26)に近接した先端を有するブレード(30)を備えた
ロータ(28)と、

を備え、

前記内側表面(26)が熱負荷に曝されたときに、前記シュラウドが円周方向に膨張し、
これが前記内側表面(26)の内側直径を小さくするように前記シュラウドが、構成され
ている、タービン発電システム。

【請求項2】

前記シュラウドがハウジング内に配置され、前記ハウジングは前記シュラウドに面した内
側表面を備える、

請求項1に記載のタービン発電システム。

【請求項3】

前記シュラウドが複数のリーフ(20)を備え、各リーフが、前記ステータに取り付けられ
、前記内側表面(26)一部を占める第1の先端を備える、

請求項1または2に記載のタービン発電システム。

【請求項4】

前記複数のリーフ(20)の各々が、第2の先端において前記ステータに取り付けられる
、

請求項3に記載のタービン発電システム。

【請求項5】

前記複数のリーフ(20)の各々が、前記第1の先端と前記第2の先端の間に延びる材料
ストリップを含み、前記材料ストリップが、前記ロータ(28)の回転軸の回りに巻き付
けられる、

請求項 4 に記載のタービン発電システム。

【請求項 6】

前記複数のリーフ（20）の各々が、熱負荷に曝されたときに線形膨張し、これにより前記内側表面（26）の内側直径を小さくするように構成されている、

請求項 5 に記載のタービン発電システム。

【請求項 7】

前記複数のリーフ（20）の各々が、熱負荷に曝されたときに容積膨張し、これにより前記内側表面（26）の内側直径を小さくするように構成されている、

請求項 5 に記載のタービン発電システム。